

THE HISTORY OF KIIFUDOKI-NO-OKA

紀伊風土記の丘のあゆみ

prefecture
Wakayama
KiiFudokiNoOka
WAKAYAMA
UNASAWA
令和7年度
休館記念
冬期特別展

建設前夜 紀伊風土記の丘

明治・大正期の岩橋千塚古墳群
戦後の開発と古墳群消滅の危機



伝和歌山市岩橋花山古墳出土装飾付須恵器
明治期出土(天理大学附属天理参考館蔵)



開発される岩橋千塚古墳群(昭和40年 大野嶺夫氏撮影)



市民参加の古墳整備の様子
(平成31年撮影)

紀伊風土記の丘
54年のあゆみ
展示・史跡整備・教育普及の軌跡
令和10年度新博物館へ

風土記の丘構想と 紀伊風土記の丘の誕生

紀伊風土記の丘構想から開園まで
松下記念資料館の建設

54

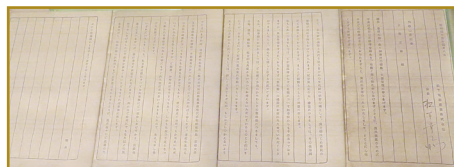
年間ありがとう、令和10年いざ新・紀伊風土記の丘へ



松下記念資料館竣工工事
イメージ図(当館蔵)



開園式の様子
(昭和46年撮影 当館蔵)



松下記念資料館建設にあたり
松下幸之助氏から和歌山県知事に宛てた書簡(当館蔵)

【重要文化財】翼を広げた鳥形埴輪(当館蔵)(牛嶋茂氏撮影)

令和8年

1.17(土) - 3.1(日)

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋1411 電話 073-471-6123

ホームページ <https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>

【開館時間】9:00~16:30 (入館 16:00まで)

【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は次の平日)

【入館料】一般200円(170円)・大学生100円(80円) ()内は20名以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上、障害者の方は無料(要:証明書)



【重要文化財】
翼を広げた鳥形
埴輪 (当館蔵)

和歌山県立紀伊風土記の丘は、特別史跡岩橋千塚古墳群とその周辺環境を保全・管理するため昭和46年(1971)8月2日に開園し、令和7年(2025)に開園54周年を迎えました。資料館(松下記念資料館)は、地元出身の松下幸之助氏の寄付を受け建設され、紀伊風土記の丘の中心施設として、これまで多くの来館者を迎えてきました。

このたび、紀伊風土記の丘再編整備事業により、令和10年度(2028)に新たな博物館(仮称 和歌山県立考古民俗博物館)を建設することとなり、それに伴い、現在の資料館も改修工事のため令和7年度末(2026年3月31日)をもって一時休館することとなりました。

本展では、紀伊風土記の丘建設前夜から誕生、資料館(松下記念資料館)の建設、そして開園後の特別史跡岩橋千塚古墳群の整備及び和歌山県内の考古資料・民俗資料の調査研究・展示・教育普及などの博物館活動のあゆみを振り返るとともに、新たな博物館開館に向けた取り組みについてご紹介いたします。

現資料館での最後の展示を、ぜひお楽しみください。

2026(令和8)年

1.17(土) - 3.1(日)

主な展示資料

■ 伝岩橋千塚古墳群出土品

(個人蔵/和歌山大学紀州経済史文化史研究所蔵/関西大学博物館蔵/当館蔵)

■ 伝岩橋千塚花山古墳出土須恵器

(天理大学附属天理参考館蔵)

■ 紀伊風土記の丘構想図(当館蔵)

■ 松下幸之助氏書簡(当館蔵)

■ 紀伊風土記の丘・松下記念資料館模型(倉敷市蔵)

■ 新館建設前の調査による新規発見古墳

(前山B370号墳)出土品(当館蔵)

装飾付須恵器
「海草郡西和佐村大字岩橋字大蔵谷ヨリ発見」(個人蔵)

■ 「きいふどきの丘の思い出」 エピソード

ほか

(背景写真)

紀伊風土記の丘・松下記念資料館
基本設計図 北立面図(当館蔵)

展示室天井伏図(当館蔵)

関連シンポジウム

2.22(日) 13:30~16:30

「過去・未来・そして地域とつながる博物館になるには」

講演者・パネリスト

中村 貞史氏(元紀伊風土記の丘 館長)

加藤 幸治氏(武蔵野美術大学 教授/元紀伊風土記の丘 学芸員(民俗学担当))

大河内 智之氏(奈良大学文学部文化財学科 教授/元和歌山県立博物館 主任学芸員)

パネルディスカッション・モデレーター 増淵 徹(当館館長)



開園時の絵葉書(当館蔵)

会場 和歌山県立紀伊風土記の丘 資料館

定員 50名(要事前申込・先着順)

参加費 資料代+入館料

申込方法 2月6日(金)13:00~

当館ホームページ(申込フォーム)、電話または資料館受付

展示講座/展示解説

2.8(日) 13:30~15:30

「紀伊風土記の丘建設前夜から開園、そして今日までのあゆみ」

瀬谷 今日子(当館主任学芸員)

会場 和歌山県立紀伊風土記の丘 資料館

定員 30名(要事前申込・先着順)

参加費 資料代+入館料

申込方法 1月23日(金)13:00~

当館ホームページ(申込フォーム)、電話または資料館受付



紀伊風土記の丘構想図(当館蔵)



【和歌山県指定文化財】

日高地域の地引網漁用具(当館蔵)



■ JR和歌山駅東口から和歌山バス「紀伊風土記の丘」行

約20分 終点下車

※最新の情報はバス会社へお問い合わせください。

■ 阪和自動車道と和歌山インターから車で約5分

交通

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋1411 [ホームページ] <https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>
[TEL] 073-471-6123 [Eメール] kofun@kiifudoki.wakayama-c.ed.jp
[FAX] 073-471-6120 [公式X(エックス)] <https://x.com/kiifudokinooka>



紀伊風土記の丘HP

和歌山県立紀伊風土記の丘資料館は、改修工事のため2026年3月末で一時休館し、新たな展示エリアを増設し、
令和10年(2028)下期、和歌山県立考古民俗博物館(仮称)としてリニューアルオープンします。



博物館(新築・改修)外観【北から】(模型)

既存資料館(博物館(改修))と調和した博物館(新築)外観



新館展示室イメージ



現資料館を改修したこども博物館イメージ

※工事期間中も、紀伊風土記の丘園内は変わらずご利用いただけます。